

平成 19 年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	てんかんのことをもっと知って！！鳥取からの発信事業 ～てんかんの正しい知識と理解のための社会啓発事業～
事業目的	<p>「てんかん」については、国民の理解も薄く、三障害一元的な取り組みをめざす障害者自立支援法においても、てんかん患者のニーズに即したサービスの開発も遅れている。</p> <p>また、てんかんの有病率は1%と高いにもかかわらず、専門医師、医療機関も少なく、社会の偏見と差別等もあり、社会生活を阻む大きな要因となっている。</p> <p>このような現状の中で、てんかんの実状やてんかん患者の意識、ニーズに関する調査等を行い、この結果に基づき、てんかんに関する国民的理解を呼びかけ、ニーズに見合った支援策を発信する。</p>
事業概要	<p>【実状調査事業】</p> <p>てんかんのある本人、一般市民及び企業関係、西部医師会、施設関係の4部門において無記名質問紙法を用いたアンケート調査を実施。</p> <p>【社会啓発事業】</p> <p>○医療支援セミナー 専門職、患者本人家族を対象にてんかんの正しい知識について研修を実施。</p> <p>○てんかん市民フォーラムの開催 当事者・家族・医療・福祉機関や職業安定所・障害者支援センター及び相談事業所・作業所等多職種、一般住民を対象にアンケート調査の結果を基にした報告と精神保健分野施策の講演</p> <p>○報告書の作成</p>
事業実施結果及び効果	<p>アンケートの結果から、てんかんに対する周囲の誤解や偏見、支援者の理解不足という課題が明らかになった。その課題に対して、今後の対策を検討し、支援体制づくりに反映させる。</p> <p>○ 報告書の作成により、てんかん患者の医療・福祉機関の現場で活用。就労等の自立に向けた支援を行う際、患者本位の支援の実践の為のマニュアルとして活用。</p> <p>○ 一般社会に対するてんかん患者の理解の促進。</p> <p>○ 患者本人家族へのエンパワメント</p> <p>○ てんかんに対応する地域のネットワークの構築によりてんかんのある方の生活の質が向上する</p> <p>○ てんかんに関わる関係者の支援スキルの向上</p> <p>てんかん患者の自立支援(社会経済活動への参加、つまり就労につながるサポートシステムの構築)の促進。</p>

事業主体	鳥取県福祉保健部障害福祉課 〒680-8507 鳥取県鳥取市東町一丁目220 電話 (0857) 26-7862 (社) 日本てんかん協会鳥取県支部 (委託先) 〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉2丁目2番8号 NPO法人あかり広場内 電話 (0859) 35-0505
------	--